



かわじま 議会だより

No. 140

埼玉県川島町議会
令和5年1月25日



新春歩け走ろう大会
(1月3日 出丸地区)

新年のご挨拶

2

11月臨時会・12月定例会 3

12月定例会 委員会の動き

4

各議員の賛否

5

一般質問 町の考えを問う 6 ~ 10

行政視察報告

11

新年のご挨拶



議長 小峯 松治

明けましておめでとうござい
ます。皆様には、輝かしい新春をお
迎えることとお慶び申し上げます。

振り返りますと、昨年は世界で
はロシアのウクライナ侵略が始ま
り、終わりの見えない戦いが続い
ており、その影響でエネルギー、
穀物等が世界的に高騰し国民生活
に大きな支障が出ております。

日本では、各地で線状降水帯に
よる集中豪雨で大きな災害が発生
しました。近くでは比企管内でも
発生し、水の怖さを再認識すると
ともに日頃の備えの重要性を教え
られました。

我が町では、昨年町制施行五十
周年という節目の年を迎え、いろ
いろな事業が実施され、十月に実
施されましたクラシックカーのイ
ベント、初めて行われました夜の
ランタン祭には、町内外から七千
人を超す人が集まり大盛況でし

た。また、十一月三日には町制施
行五十周年記念式典が挙行され、
五十年の歩みの動画が紹介され、
先人の弛まぬ努力により今日があ
る事に感謝するとともに、これか
らの五十年に向け、持続可能な社
会の構築、町の一層の発展を、未
来に繋げていかなければならない
との思いを新たにしました次第です。

本年は、「うさぎ」年であり、
跳ねる意味から飛躍の年となり、
災害のない、また世界が紛争のな
い安心して暮らせる年になります
よう願っています。

議会といたしましても、皆様の
負託に応え安心・安全なまちづく
りに邁進して参りますので、一層
のご支援を賜りますようお願い申
し上げます。

結びに、今年が町民皆様にとり
ましてより良い年になりますよう
ご祈念申し上げます。年頭のあいさつ
といたします。



森田議員 為水議員 新井副議長 小峯議長 小高議員 道祖土議員 菊地議員
矢谷議員 矢内議員 稲村議員 柴田議員 加藤議員

11月臨時会

令和4年11月10日の会期1日間で開催されました。町長提出議案1件が審議され、可決しました。

令和4年度川島町一般会計補正予算（第4号）

1億2,784万1千円

国による電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金の支給や、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金における「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」を活用して、国の給付事業の対象とならない方の生活を支援するための補正です。

・ 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金支給事業	8,175万円
・ 生活支援給付金支給事業	1,507万4千円
・ かわじま元気クーポン配布事業	5,997万円
・ 歳末たすけあい事業	417万円
・ 高校生を応援！電子マネー配布事業	506万4千円

12月定例会

令和4年11月30日から12月8日までの会期9日間で開催されました。町長提出議案11件が審議され、全議案を可決しました。

主な議案

補正予算

令和4年度川島町一般会計補正予算（第6号）

主に、燃料費高騰による光熱水費の追加、新型コロナウイルスワクチン（オミクロン株対応）の接種事業費の追加、伊草小学校の空調設備更新工事費の追加などの補正です。

2億7,165万3千円

令和4年度川島町水道事業会計補正予算（第3号）

主に燃料費の高騰による電気料の追加の補正です。

889万円

令和4年度川島町一般会計補正予算（第7号）

国・県補助金の出産・子育て応援交付金を活用して、妊娠時から出産・子育てまで一貫した相談支援（面談）の充実と経済的支援（出産・子育て応援給付金の支給）を一体で行う出産・子育て応援事業を実施するための補正です。

1,143万7千円

条例の一部改正

川島町職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例を定めることについて

職員の定年の年齢を段階的に65歳まで引き上げるため必要な事項を定めるものです。

川島町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて

令和4年人事院勧告及び埼玉県人事委員会勧告の趣旨に鑑み、川島町議会の議員の期末手当の額を4.3か月から4.4か月に改定するものです。

町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて

令和4年人事院勧告及び埼玉県人事委員会勧告の趣旨に鑑み、町長、副町長及び教育委員会の教育長の期末手当の額を4.3か月から4.4か月に改定するものです。

川島町一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて

令和4年人事院勧告及び埼玉県人事委員会勧告を踏まえ、川島町一般職員の給与を改定するものです。主な内容は、初任給を中心に若年層に重点を置いて平均0.3%の給与の引き上げ、期末・勤勉手当を4.3か月から4.4か月に改定するものです。

総務経済建設常任委員会

職員定年が65歳まで延長

問 定年が延長されると職員が増え、定数の関係から、新規採用者数に影響が出ると思うが。

答 定数管理は再任用職員も入っており、フルタイムの職員をカウントしております。今後は新規採用の件も含め、計画的に進めてまいります。

物価高騰で業者への発注額に影響は

問 業者の受注額が高くなっているが、町での対応は。

答 物価高による資材の値上げはありますが、人件費や経費は現在変化はありません。業者の働き方改革によって休暇を増やしている所もあるので、加味しながら設定しています。

農業者支援事業

問 経営所得安定対策推進事業費補助金の内容は。

答 各農家からの飼料用米等の補助金申請を電子申請が行えるようシステム改修するもので、農業再生協議会に対して補助するものです。



上伊草地区内の工事現場を視察

内水対策の雨水排水路

委員長コメント

町では大雨による内水被害の対策として、市街化区域を中心に、雨水排水路の整備を行っており、全体計画の7割程度が完成している状況です。安全安心を構築する上で重要な事業ですので、費用面を考慮し、慎重かつ計画的に推進していただきたいと思います。

文教厚生常任委員会

川島中学校トイレ改修工事

問 川島中学校のトイレ改修工事内容は。

答 小便器の自動水洗化を11基、和便器から洋便器への交換が14基、洋便器へのウォシュレットの設置が8基、4箇所すべてのトイレの床の乾式化、トイレブースの設置、自動照明や自動水栓の手洗いの設置です。

地産地消の取組は

問 給食の地産地消の推進に向けた委託業者との連携は。

答 学校給食センター、委託業者の両栄養士を中心に連携し、試行錯誤、工夫を重ねながら、地場産物を取り入れ、更なる地産地消に取り組んでいきます。

不法投棄ごみ回収・処分費補助金

問 「不法投棄ごみ回収・処分費補助金」の趣旨は。

答 民有地に不法投棄された廃棄物の速やかな撤去・不法投棄の再発防止・住環境の向上を図るため、回収・処分を行う場合、その費用の一部について補助するものです。



改修された伊草小学校のトイレ

伊草小学校のトイレ改修工事の状況を委員会で視察

委員長コメント

今回委員会で視察した、伊草小学校のトイレ改修工事は12月末で完了し、町内全小学校の本校舎のトイレ洋式化率は100%となり、両中学校の本校舎の洋式化率は79.8%ですので、一日でも早く全小中学校のトイレの洋式化が進む事を願っています。

各議員の賛否

※「○」は賛成、「×」は反対を表しています。また、「―」は議長もしくは退席のため表決しておりません。

上程された議案	結果	議員氏名											
		加藤進	渋谷幸司	矢内秀憲	柴田一典	稲村美代子	新井悦子	爲水順二	森田敏男	菊地敏昭	道祖士証	小高春雄	小峯松治
11月臨時会													
令和4年度 補正予算													
川島町一般会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
条例の一部改正													
川島町職員の定年等に関する条例等の一部改正等	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
川島町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	―
町長等の給与等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	―
川島町一般職員の給与に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
12月定例会													
令和4年度 補正予算													
川島町一般会計補正予算（第5号）	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	―
川島町水道事業会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
川島町下水道事業会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
川島町一般会計補正予算（第6号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
川島町水道事業会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
川島町一般会計補正予算（第7号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
町道路線の廃止													
町道路線の廃止（町道4074号線）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―

（※議員名は、議席順となっております。）

町の考えを問う

町政一般質問要旨 12月6日、7日に一般質問が行われました。

※一般質問の内容は各質問議員によって編集されています。
※質問項目の区分により太字にしています。



矢内 秀憲 議員

- 1 川島町国土強靱化地域計画の推進について
- 2 高齢者福祉の拡充について

新井 悦子 議員

- 1 子育て支援について
- 2 防災・災害時の必携ツール「アンブルボード」について

加藤 進 議員

- 1 普通自動車運転免許証給付金制度について
- 2 秋祭り収穫祭について

小高 春雄 議員

- 1 町進展について

柴田 一典 議員

- 1 小中一貫校へ後から合流する伊草小学校の児童への対応について

菊地 敏昭 議員

- 1 町の広報・広聴について
- 2 旧村・大字・自治会について
- 3 小中一貫校への構想について

渋谷 幸司 議員

- 1 地域公共交通について
- 2 定住促進事業について

稲村 美代子 議員

- 1 医療的ケア児について
- 2 旗振りについて

問

高齢者福祉において家具転倒防止器具設置を。

答

前向きに検討いたします。

問 国では、団塊の世代全員が75

歳以上の後期高齢者となる、二〇二五年を目標に、「地域包括ケアシステム」の構築を目指しているところですが。当町では既に、福祉と医療の連携は始まっていますが、私が思うに、地域の中でいつまでも我が家で暮らしたい願いを実現させるため、大切なことは高齢者に寄り添った福祉のまちづくりであると考えますが、町長の考えは。

答 人口減少社会における介護

需要の急増という困難な課題に対して、専門職と地域住民一人ひとりが力を合わせる仕組みづくりを整備しているところです。特に、65歳以上の方が介護を必要とせず、健康で日常生活を保障なく過ごすことができることを目的とした様々な福祉事業の実施。また、特定健診、長寿健診などの受診率向上に取り組みことで、福祉のまちづくりに繋がっているところでもあります。

問 「一人暮らしの高齢者」を対象に「家具転倒防止器具給付設置事業」を新設提案します。相乗効



矢内 秀憲
やない ひで のり

果としては、町内の大工系の方等の受注率アップにもなりますが如何か。

答 関係機関と協議し、前向きに検討いたします。

問 生活機能が低下する恐れのある方を対象に「歩行者補助つえの支給」を新設提案します。特に、介護保険認定申請で「非該当」であっても、自立支援が必要な方のためですが如何か。

答 検討いたします。



デイサービスセンター やすらぎの郷でのレクリエーションの様子

問 子育て支援の町長の考えは。

答 川島町の未来に向けた支援に。



新井悦子
あらい えつこ

問 過去5年間の出生数は。
答 平成29年87人、平成30年97人、平成31年から令和元年86人、令和2年73人で、令和3年は52人です。

問 産前産後ケアの内容は。

答 産前産後ヘルパー派遣事業があります。母子手帳の交付を受けている方、又は一歳未満の乳児を養育している方が、家事、育児に対し家族の支援が受けられない場合に利用できる制度です。町から社会福祉協議会へ委託しており、委託料は、1時間2,300円、うち個人負担は、1時間500円となります。1回の派遣は、2時間まで、10回までの利用が可能です。

問 産前産後ヘルパー事業の家族の援助が受けられない場合とあるが、誰でも受けられるという制度にすべきでは。

答 来年度予算に向け更なる支援で利用しやすいよう内容を検討しています。

問 孤育てにならないために町でできるアウトリーチの伴走型支援



子育て支援

は。

答 関係機関で町に適した支援の検討をします。

問 事業自体の更なる支援は。

答 来年度予算編成にと考えます。

問 育児用品すくすくギフトの状況は。

答 対象児童が221名で210名が申請しています。0、1、2歳への育児用品支給事業で町単独事業です。1万円分を上限としています。

問 防災・災害時の必携ツール「アンブレボード」の必要性は。

答 今年度1台導入し、活用方法を検討します。

問 運転免許証給付金制度を。

答

地域公共交通会議で検討していきます。

問 当町は、交通手段にクルマ無くしては非常に不便な町と考えられます。そこで、新たに18歳以上の普通自動車運転免許証を取得する町民全てを対象に給付金制度を考えるが、町の考えは。

答 社会情勢を見極めながら、地域公共交通会議などで検討していきます。

問 今、運転免許証取得費用は30万円前後かかります。町で3割から2割程度負担を考えるがいかがか。

答 財政状況と社会情勢等を踏まえた中でバランスを取り検討していきます。

問 50周年記念事業としてカーフェスティバルやランタン祭が新型コロナウイルス感染症対策を講じて開催されたが、集客はどの位か。また、農業商工祭はなぜ開催されなかったか。

答 カーフェスティバル、ランタン祭共に7千人を超える来場でした。農業商工祭は、JA、商工会、町と三者の共催になっており、新型コロナウイルス感



現在の運転免許証（見本）。是非補助金を…

染症対策が行き届かないと判断し、中止にしました。

問 イベント時の駐車場が足りなかったようだが、平成の森公園側や庁舎裏側を広げる予定はあるのか。また、収穫祭として共催できるのか。

答 可能な限り駐車場確保に努めます。また、今後イベントの共催についても検討していきます。



加藤進
かとう すずむ

問 町の進展は。

答 ここが好き、やっぱり好きと思えるまちに。

問 令和五年一月十七日に告示される町長選挙に立候補を決意されたが、将来の町づくりの施策をどのように進めていくのか。

答 (町長)

第6次川島町総合振興計画の戦略目標の「まもる」「つなぐ」「つくる」「そだてる」の四本の柱ごとに、バランスのとれた施策を展開してまいります。

- 横塚樋管、船原橋、安藤川の改修
- 営農環境の維持・改善
- 新ごみ処理施設の建設
- 地域包括ケアシステムの充実
- 災害に備える環境整備
- 圏央道川島IC南側開発の推進と観光振興の向上
- 小中一貫教育の推進
- 学校給食費の第3子以降への無償化支援

問 町職員の知恵・町づくりへの想いを先頭に立ち、町を活性化すべきだと思うが。

答 (副町長)

人事評価制度に基づく組織目



高橋 春雄

標及び個人目標の設定と面談、進行管理を通して職員の知恵・町への想い考えを引き出し、職員一丸となって町づくりを進めます。

問 少子化に伴い次世代の教育方針及び生涯学習活動、公民館活動をどのように進めて行くのか。

答 (教育長)

令和七年度から始まる小中一貫教育を推進してまいります。また、コロナ禍で実施できていない行事や活動は新たな方向性で創意工夫して進めてまいります。



町役場庁舎

問 小中一貫校へ後から合流する伊草小の児童への配慮は。

答 ささまざまな対応をしていきます。

問 町の教育委員会では、つばさ南小学校とつばさ北小学校を統合し、統合された小学校と川島中学校での施設一体型・小中一貫教育校を、令和7年度から実施する計画を進めています。

そんな中、伊草小学校の約半数の児童は川島中学校に入学するので、伊草中学校は、統合小学校及び川島中学校とも、連携・交流を実施していくという計画になっています。

公立の小中一貫教育というものを、自ら経験した保護者がほとんどいない中では、今後も、丁寧な説明が必要であると考えます。

今回は、川島中学校へ後から合流する伊草小学校の約半数の児童への配慮について質問をします。

①小中一貫校の児童との交流については、オンライン授業などを通じて進める計画ですが、その内容は。

②川島中学校の生徒との交流については、部活動やイベントなどを通じて行っていく計画ですが、内容は。



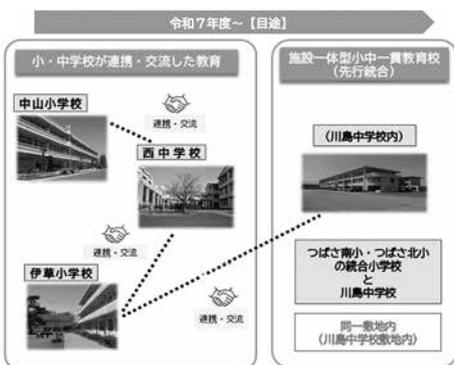
柴田 典一

③その他、配慮すべき策は。

答 ①ICTを活用したオンライン授業や、祭りなどの行事に参加しあうなど、小学校間での訪問交流を図ることができるものと考えています。

②中学校の部活動を公開し、体験したりする機会を設けることや、文化祭の雰囲気味わってもらうことなどを考えています。

③中学校の教員が、小学校に向いて授業するなど、教員の相互乗入れ授業の機会を増やしていきます。



令和7年度からの概念図

問 水害予告プレートは。

答 町外への広域避難を周知し防災意識向上のため。

問 町の人口減少で地域に与える影響は。

答 児童生徒数に応じた教育機能の統廃合の必要性、社会保障制度への経済負担の増加、労働力の縮小による町財源の減少などです。

問 水害予告プレートを貼って何を求めたのか。

答 水害の危険性を認識できるように58枚のプレートを取り付けて町外への広域避難を周知し防災意識向上のために実施しました。

問 他市町村で水害予告プレートが貼られているか。又今後、増やしていく予定は。

答 他市町村で、ここまで水が来たという表示は見たことはあるが、予告プレートは近隣では確認がとれていません。プレートをこれ以上増やす予定はありません。

問 小中一貫校への構想が発表されたが、学童保育事業の今後の見通しは。

「つばさ北・南学童保育室」



菊地敏昭
きくち とし あき

答 増築工事の規模を検討したが学童保育室分まで建設するのは困難であることがわかり、スクールバスの帰り便を活用し学童を利用する児童を送ります。来年度、小学校統合協議会を組織し、スクールバスのルート、停留所等、関係者を交えて検討します。

問 町道2-16号線(平成の森公園東側)の拡幅計画は。

答 川島中学校北側から400mは4.5mと狭いので、行政系エリアとして構想がまとまり整備計画が策定されれば検討をしていきます。



58枚の水害予告プレート

問 高校生の通学支援に取り組む考えは。

答 通学への負担が軽減されるように研究を進めます。

問 川島町では、高齢者の免許返納者が年間で約100名おり今後も増え、移動手段の確保が生活を維持するうえでも重要な課題です。また、町に駅がないために通学する高校生等は、バス料金が高く家庭の負担が大きくなっています。そこで、町内の目的地へ無料で行けるデマンド交通を実施する事や高校生の通学支援、また、新しい交通システムに取り組む考えはどうか。

答 今年度実施したアンケートでは、公共交通に関する満足度は6.3%でした。無料のデマンド交通を実施する考えはありません。高校生の通学への負担軽減は研究していきます。また、かわみんタクシーの乗り合わせを促進するために配車アプリを活用した実証実験を考えています。

問 町の人口は年々減少が続いています。「川島町に住みたい、子どもを産んで育てたい」と思ってもらえ、町に定住者を増やすことが重要です。町の定住促進事業、



渋谷幸司
しげや こうじ

空き家バンクの状況、給食費の補助に取り組む考えは。

答 結婚新生活支援事業は、2年間で3件の補助実績がありました。これまで空き家バンクの成約は19件で、そのうち農地付き空き家は2件成約し、今年度も1件が成約の見通しです。給食費に関しては、国や県内市町村の動向を見ながら、さらなる保護者負担の軽減を検討していきます。



三重県玉城町の無料デマンド交通「元気バス」

問 ケア児に対応できる看護師等の配置は。

答 利用申込みや就学希望があれば検討します。

(医療的ケア児について)

問 医療的ケア児支援法の施行から一年が経ったが、川島町には、医療的ケア児は何名いるのか。

答 医療的ケア児とは、日常生活を営むために、恒常的に人工呼吸器による呼吸管理やたん吸引などの医療ケアを受けることが不可欠な児童のことで、10月現在、対象児童は3名。うち2名が未就学児です。小中学校には在籍者はいません。

問 埼玉県の医療的ケア児保育支援事業実施要綱にガイドラインの策定を行うとあるが、川島町の策定状況は。

答 令和6年度の入園に合うように、ガイドラインの策定を予定しています。

問 支援法は、ケア児に対応できる看護師等を保育所や学校に配置するよう求めているが、川島町の考えは。

答 医療的ケア児の利用申込みや就学希望がある場合は、看護師の配置等を検討したいと考えています。



稲村 美代子
いなむら みよこ

問 かわみんテラスの相談件数は。

答 11月下旬までで8件です。(旗振りについて)

問 川島町では、子供の人数が少なくなっており、保護者の旗振りが負担になっているとの声があるが、町の考えは。

答 来年度から、保護者や地域住民の方が共に学校運営に携わるコミュニティスクールの取組を始めます。その中で検討していきたいと考えています。



子育て支援課に開設された川島町子ども家庭総合支援拠点「かわみんテラス」

川越地区消防組合議会

道祖土 加藤 敏 進男証

令和4年川越地区消防組合議会第3回定例会は10月3日に開催されました。

上程された議案は、議案第9号、議案第10号、議案第11号、議案第12号と同意第1号です。

議案審議の前に、閉会中の継続審査となっていた消防庁舎及び訓練施設等に関する特別委員会の委員長より、審査についての経過並びに結果が報告され、特別委員会としては、今後も慎重に調査する必要があり、継続審査の申し出がされ、継続審査とすることに決しました。

議案第9号 令和3年度川越地区消防組合一般会計歳入歳出決算認定について

令和3年度一般会計予算総額54億33万円に対する決算額は、歳入53億5,583万934円、歳出51億2,710万3,319円、歳入歳出差引残額2億2,872万7,615円を翌年度に繰り越しするものです。監査委員より決算審査意見書についての説明があり、全員賛成で原案認定されました。

議案第10号 川越地区消防組合消防職員の定年等に関する条例を定めることについて

消防職員の定年年齢を順次65歳まで引き上げることに必要な

事項を定めるためとの提案理由があり、全員賛成で原案可決されました。

議案第11号 川越地区消防組合消防職員の給与に関する条例及び川越地区消防組合人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて

議案第10号及び地方公務員法の改正に伴い、60歳を超える職員給与に関する条例改正が必要との提案理由があり、全員賛成で原案可決されました。

議案第12号 令和4年度川越地区消防組合一般会計補正予算(第1号)

川越地区消防組合設立50周年記念式典・特別記念事業企画運営業務委託を令和4年度から令和5年度とし、令和4年度から準備を開始するため債務負担行為補正を行いたいとの提案理由があり、全員賛成で原案可決されました。

同意第1号 公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて

公平委員会委員に本山賢太郎氏を選任したいとの提案があり、全員賛成で同意されました。

(道祖土)

ごみ処理施設建設に関する特別委員会行政視察報告

令和4年10月20日（木）富士市新環境クリーンセンター（静岡県富士市）
 令和4年10月21日（金）町田市バイオエネルギーセンター（東京都町田市）

富士市新環境クリーンセンター

工場棟は、地下2階、地上5階建て、処理能力は250トン/日、処理方式は全連続燃焼式（ストーカ炉）、発電設備として蒸気タービン発電機が設置されています。蒸気タービン発電機でつくられた電気（一般家庭約1万5千世帯分）は施設内で使い、余った分は売電し、年間約3億円の売電収益を上げていました。



富士市視察の様子

付帯設備として、余熱を利用した余熱利用体験施設「ふじかぐやの湯」やレストラン・大広間が整備されています。環境が学べる修理再生施設「ふじさんエコトピア」があります。双方で66、329人の利用があり、住民の方からは好評のようでした。

災害対策は、地震と津波の影響を考慮して強い岩盤がある高台に建設され、災害によりライフラインが寸断された場合にも、速やかにごみ焼却を再開し、発生する熱エネルギーを利用した発電・温水等の余熱利用を通じて住民生活を支援することでした。循環管理棟は災害時には地域の福祉避難所として活用されます。

建設予定地が決定してから17年、着工から3年半を費やしましたが、その間、地域の皆さんとの協議を重ねながら施設の在り方を決めていきました。地域の皆さんの要望で整備した温浴・啓発施設は目標以上の方々に利用され、環境について学べると同時に交流の輪を広げる施設になっていました。

町田市バイオエネルギーセンター

工場棟は地下2階、地上5階建て、管理棟は地上4階建てで、処理能力及び処理方式は、ストーカ式焼却炉258トン/日とバイオガス化

施設乾式高温メタン発酵50トン/日、首都圏初の乾式メタン発酵による都市ごみ処理施設です。

バイオガス化施設の導入に至った経緯は、地域及び地球環境を守るため、「ごみになるものを作らない、燃やさない、埋め立てない」を市の基本理念に掲げ、2006年に「ごみゼロ市民会議」を立ち上げ、延べ290回の会合を重ねて、ごみの減量と資源化の促進に向けた協議・検討を行いました。

発電設備として蒸気タービン発電機では1日に最大1万4千世帯分の電気をつくりだすことができます。また、バイオガス発電機も設置され、バイオガスエネルギーセンターで発電した電力は、工場棟で使用し、残った電力は、管理棟で使用し、残った電力は、売却しています。令和4年9月までの1か月平均約5千万円で売電しています。

災害時には、地震に強い構造になっていて施設を安全に停止した後、非常用発電機で施設を速やかに稼働させ、早期にごみ処理と発電ができるようになっていきます。同センターで発生させた熱エネルギーを活用して、隣接する室内プールと温浴施設が整備され、地域の方に活用されていました。

川島町が取り組んでいる2市1町による新ごみ処理施設建設についても、施設規模を検討するに当たり、ごみの排出量が影響してきます。今回視察した2市と川島町の令和2年度における1人1日当たりの可燃ごみの量を比較してみると、富士市が657グラム、町田市が524グラム、川島町が694グラムとなっており、富士市と同程度で町田市よりも約1.3倍多くなっています。新ごみ処理施設建設を進めながら、ごみの減量化に向けた学習等を住民の皆さんとより具体的に取り組むことが重要だと考えます。



町田市視察の様子

議会運営委員会所管事務調査

議会運営委員会の所管事務調査が、次のとおり行われました。
なお、詳しい内容については、次号で報告いたします。

日程
令和4年11月15日(火)

視察先

長野県北佐久郡軽井沢町議会

視察内容

- ・ 通年議会について
- ・ 議会活性化特別委員会の設置について

議会日誌

10月

- 4日 埼玉県町村議会議員研修会
議会報編集委員会
- 20日～21日 ごみ処理施設建設に関する
特別委員会視察
- 26日 議会全員協議会

11月

- 2日 埼玉県町村議会議長会広報研修会
- 3日 川島町町制施行50周年記念式典
- 10日 議会運営委員会
11月臨時会
- 15日 議会運営委員会所管事務調査
- 24日 議会運営委員会
議会全員協議会
- 30日～12月8日 12月定例会

12月

- 6日 議会報編集委員会
- 8日 議会運営委員会
議会全員協議会
- 22日 議会報編集委員会



軽井沢町議会での様子

議員研修会

埼玉県町村議会議長会主催による、町村議会議員研修会が、10月4日、吉見町民会館(フレスポ)で開催されました。
当日は、講師に埼玉高速鉄道株式会社代表取締役社長の荻野洋氏を迎え、「組織づくり・人づくり」について、講演をいただきました。

表紙解説

新年恒例になりました出丸地区「歩け走ろう大会」です。旧出丸小学校から太郎右衛門橋付近まで堤防を歩き、折り返して来るコースで約6キロとなっています。走ったり、歩いたりすることは健康で丈夫な体を維持できるとされています。

参加された方は、とても気持ち良さそうでした。
また、出丸地区は、川島町で一番初めに日の出を見る事ができる地域でもあります。

今年一年、町民皆さまが、健康で素晴らしい年になりますように…。
(写真・文章/加藤)

3月の定例会予定

議案審議

一般質問

3/1(水)～3/3(金) 3/10(金)～3/14(火)
3月定例会は3/1～3/14の予定です。

編集後記

皆さんは「ドラえもん」がなぜネズミが嫌いかわご存知ですか？元々、ドラえもんは、ネズミが嫌いなわけではありませんでしたが、寝ている間に耳をネズミにかじられ、なくなったことでネズミに強い恐怖を感じるようになりました。

コロナ禍における子どもたちは、ドラえもんと同じようなトラウマを抱えているケースがあります。しかし、ドラえもんは、のび太くんを支え、元気に毎日を生きています。のび太くんが喜ぶと嫌なことは吹き飛んでしまいます。

子どもの心の不調や不安な気持ちを改善するためには、遊びや自然体験が効果的と言われています。子どもたちと一緒に遊びを通して、新型コロナウイルスを必ず乗り越えましょう。
(矢内)

議会報編集委員会

- | | |
|------|------|
| 委員長 | 新井悦子 |
| 副委員長 | 渋谷幸典 |
| 委員 | 柴田一典 |
| 委員 | 加藤秀憲 |
| 委員 | 小峯松治 |
| 相談役 | 小峯松治 |